

6 - 2 男女海盆付近の活断層について

On Active Faults in the Danjo Basin and its Environs the Northern Part of Okinawa Trough.

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency.

九州西方の沖縄トラフ北部にあたる男女海盆付近の断層¹⁾についてつぎのようなことが判った。

1. 沖縄トラフの北縁にあたる男女海盆付近に垂直変位量の大きな男女断層（仮称）と同変位量の小さな小断層群が存在する。男女断層は断層角盆地と考えられる男女海盆南縁の断層崖を形成し、小断層群は男女海盆に隣接する褶曲構造に伴なわれており一部は低い海底崖や溝状の凹地を形成している。

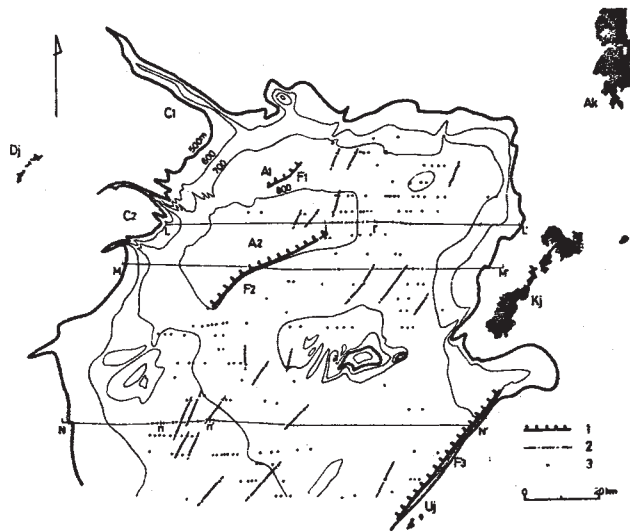
2. 男女断層は見かけ上正断層としたときの上盤・下盤に第四紀を通じて定向的な傾動運動がみられ、上盤は沈降、下盤は上昇している。小断層の第四紀層と考えられる層を切っており垂直方向の変位量に定向的累積性がみられること、活断層特有の地形に類似する海底崖や溝状の凹地を伴っている。このことから両者は活断層と考えられる。

3. 男女断層、小断層群の最近の顕著な変位開始時期は鮮新世末期～第四紀初期と考えられる。垂直方向の平均変位速度はそれぞれ 0.2 m / 1,000 年, 0.02 m / 1,000 年であり松田²⁾の分類した B および C クラスに相当する。

4. 浅発地震の震央分布³⁾はこの海域に地震が発生していることを示しており、活断層の存在を支持している。

参 考 文 献

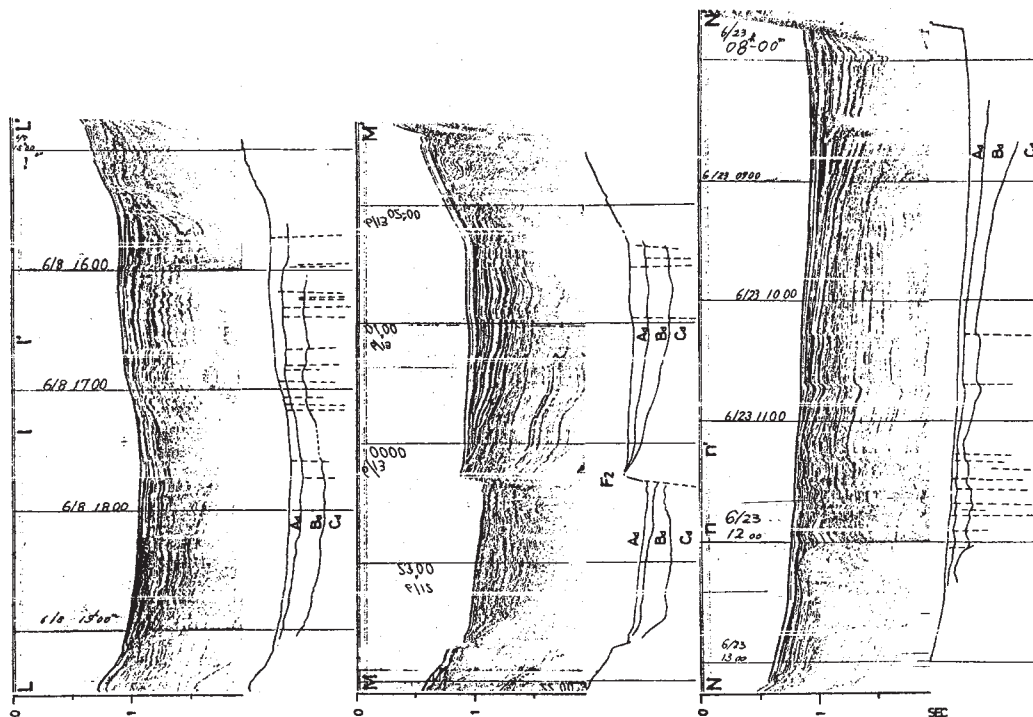
- 1) 海上保安庁水路部；九州西岸沖の海底地形・地質構造・地磁気異常，地震予知連絡会会報 16, 137 - 141, 1976.
- 2) 松田時彦；活断層について，地質学会シンポジウム資料 — 断層と地震，1 - 5, 1975.
- 3) 気象庁地震課；1974 年の日本付近の地震活動，地震予知連絡会会報，14, 138 - 147, 1975.



第1図 男女海盆周辺の活断層分布

1: 断層線, 2: 小断層線, 3: 走向の不明瞭な小断層, A₂: 男女海盆
 F₂: 男女断層, D_j: 男女群島, A_k: 天草下島, K_j: 甌列島

Fig. 1 Distribution of active faults. 1; fault line 2; small fault line 3; small fault which fault line is obscure A_k; Amakusa-simo-jima D_j; Danjo-islands K_j; Kosiki-islands A₂; Danjo basin F₂; Danjo fault



第2図 音波探査記録にみる活断層

男女断層 (F₂) および小断層を点線で示す。

Fig. 2 Active faults on continuous seismic profiles. Dotted lines show active faults.